

北摂トレイル踏査山行 第6回 (9/11 行程)

波豆川～大船山～羽束山～波豆

2020年2月29日

<参加メンバー> 5人(男性4人、女性1人)

<天 候> 曇り後小雨

<コースタイム>

JR 武田尾駅前から阪急田園バス 6:55 発～ 7:23 波豆川
停 7:28～ 7:46 大船山登山口 ～ 8:28 大舟寺跡 8:35
～ 8:38 頂上への分岐 ～ 8:52 大船山頂上 8:57 ～ 9:
08 分岐 ～ 9:19 十倉・波豆川分岐 9:24 ～ 9:55 十倉集
落の車道出合 ～ 10:30 つくしの里 (WC、買い物) 10:40
～ 11:02 蓮花寺前 ～ 11:06 羽束山分岐 ～ 11:12 岡村
酒造場 (ランチ) 11:52 ～ 12:00 羽束山分岐 ～ 12:22
泪岩 ～ 12:45 宰相ヶ岳分岐 ～ 13:02 羽束山頂上 13:
17 ～ 13:28 六丁峠 (甚五郎山分岐) ～ 13:40 八王子神
社 (香下) ～ 13:53 車道出合 ～ 14:30 波豆
15:11 発の阪急田園バスで宝塚駅に戻る

<山行の概要>

踏査山行第2回目で鳥飼山～屋ヶ岳～大船山コースで登る予定であった大船山がタイム的に困難であったため、大船山～羽束山コースとして今回新たに設定した。登り慣れた山であるが2峰を縦走するのは初めてであった。参加者が5人と少なく、天気も芳しくないことから歩行スピードが早く、当初予定時間より早い行動となった。そのため、途中にあった「つくしの里」でトイレ休憩がてら買い物(餅や地場野菜を販売している)したり、木器の岡村酒造場へ足を伸ばして新酒を買ったりして、おまけ付きのプラスαのお楽しみ山行ができた。このコースには他にも10割蕎麦(獅子肉蕎麦?)の店もあるらしいので、改めてゆっくり歩こうかと参加者で話し合った。トレイルコースではこのようなプラスαの魅力的な部分も紹介していければよい。

行動時間: 約7時間

歩行距離: 約16km



1. 波豆川のバス停を出発



2. 波豆川口までのバスが遅い時間しかないため、いくつかのバス停前を歩いて進む。前方の山は目的の大船山



3. 登山口 車道から左側に進む
民家の梅は満開だった



4. 石がゴロゴロする道を進む



5. 途中にトラロープが張ってある。ロープ伝いに登山路が伸びている



6. 舟寺(大舟寺)後に到着
約1400年前に百済の僧が建立した舟寺があった場所。現在は石積みなどのそれらしき跡が残っている



7. 舟寺跡からロープ伝いに登っていく



8. 舟寺跡から暫くすると大船山頂上への分岐に到着



9. 急坂を登り切って大船山頂上に到着



10. 大船山の解説板には、大阪湾から大船山は遠望でき、航海の目印になっていたとか



11. 頂上の祠



12. 急坂を激下りして分岐に戻ってきた



13. 次に十倉と波豆川へ分かれる分岐に到着



14. 分岐で暫し休憩の後、十倉へと下る



15. 樹林の中を下っていく



16. 電気柵を越して進む 北摂の山には鹿、猪除けの電気柵が大抵のところにある



17. 十倉集落の車道に出て、約 1 時間の車道歩きとなる



18. 波豆川を越える。前方の三角の山はコレから登る羽東山



19. 途中「つくしの里」なる綺麗な施設があった。トイレ休憩がてら覗いてみた。名物の餅や地場産野菜などを販売している



20. 木器の蓮花寺前を通過する



21. 前方の木器バス停まで行かず、手前をショートカットして近道して進む



22. 羽束山へは前方の羽束川を渡らずに南下するが、時間に余裕があったので真っ直ぐに進んで岡村酒造場へ寄り道することにした



23. 千鳥正宗の三田唯一の酒蔵、岡村酒造場着



24. 新酒を買ったり、一寸だけ？〇〇したりした後、酒蔵横の広場でランチタイム
後方の茅葺きが岡村酒造場



25. 再び羽束川を渡し、暫く川沿いに進む



26. 羽束山登山道の道標が現われる。右の山が羽束山



27. Y字型の分岐は右側に進む



28. 途中、杖が数本置いてあった。急登で使った物を後の人のために置いているのだろう



29. この先の堰堤へと続く管理道路を進む



30. 堰堤手前の「泪岩」



31. 堰堤を越えてから少し下る



32. ところどころに手作りの道標がある



33. 急登の先の宰相ヶ岳分岐に到着



28. 急登がまだ続く



29. 頂上の観音堂に到着



30. 少し離れたところにある鐘楼



31. 南に進むと展望の良い岩場がある



32. 更に南に進むとテラス状の岩場がある。樹木に遮られて展望は今ひとつ



33. 元の方に戻って、下山を開始する 前方は先程の観音堂



28. 階段状の登山道を下る



29. 六丁峠(甚五郎山との分岐)を通過する



30. 登山道終点の八王子神社に到着



31. 下りて来た方向を振り返る 羽束山登山口の道標がある



32. 雨が降り出してきたので傘をさして歩き、香下集落の車道との出合に出る。ここから約 30 分の車道歩きとなるが、途中から歩道がなくなり、車がスピードを出して走っている所以要注意



33. ゴールの波豆に到着。
3:11 のバスまで 40 分程あり、雨が降っていたので地元の会館の前で雨宿りしてバスを待つ。この後バスに乗り宝塚駅まで戻った

